

令和2年度

利島村教育委員会 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価
「点検・評価に関する」意見

東京都多摩市青少年問題協議会 落合地区委員会 会長
東京都多摩市立落合中学校 落合地区地域学校協働本部推進員
主任児童委員
東京都多摩市立東落合小学校 放課後子ども教室リーダー
榎 つきみ

教育委員会の自己評価は、全34項目中、達成率75%以上のA評価が26項目、50%以上のB評価が6項目、C評価が2項目、D評価はなしという結果でした。今年度C評価がある背景には、コロナ禍による行事や事業の縮小や中止がありますので、全体としては適正な管理・執行が行われていると判断して良いと思われま

す。以下、示された主な項目の「点検・評価」に関して、簡単にコメントを加えます。

1、教育委員会の活動

「(3) 教育委員会と村長との連携」「(4) 教育委員の学校支援(学校訪問、学校施設点検)」では、コロナ禍に於いてどのように学校教育を進めていくべきか、村長や学校長、副校長等と密に意見交換をされたとのこと。緊急事態にどうすれば良いか、緊急事態だからこそ出来る方法はないのか、何度も何度も話し合われたことと思います。運動会や文化祭が、規模は縮小されながらも開催され、子どもたちはどんなに喜んだことでしょう。学校だよりの子どもたちの笑顔から、達成感とみなぎる自信が伝わってきます。また、年末に行われた「ふるさと利島に思いを寄せる日」。やはり、縮小しての開催とはなりましたが、子どもたちは故郷への思いを温めたに違いないと思いました。

2、教育委員会が管理・執行する事務

「(5) 離島高校生就学支援事業の事務に関する事

3、教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

」(3) 社会性を育む教育の推進」「(4) 児童・生徒の他地区との交流」では、多くの事業がコロナ禍で中止せざるを得なくなりました。海外ホームステイや檜原村交流、東京都区内での諸体験など学びが充実し、例年子どもたちの思い出の鮮やかな1ページとなっただけに、中止は無念だったと思います。そんな中、島嶼間での島外活動に切り替え、子どもたちの思い出づくりを企画して下さったことを大変嬉しく思い

ました。

4、学校教育

「(4) 健康の保持・体力の増進を図る教育活動」では、重点的に長座体前屈と50m走に取り組み、男女ともに記録の伸びが見られたとのこと。また、有志対象ではありましたが、臨時休校中に運動教室を開催されたとのこと。すばらしい取り組みですね。運動は身体だけでなく、心の健康にも効果があると言われます。ましてやコロナ禍のスティホームの時代、運動で心も体も健やかに育ちますように。

「(8) 故郷教育の推進」。今年は3ヵ年計画の3年目。「利島の未来」がテーマですね。様々な立場の方々からお話を聞き、1・2年生は栈橋について、3・4年生は椿について学び、5・6年生は「将来、帰ってきたい利島」にするための提案を考えたとのこと。さらに中学生は未来の利島像を話し合い、利島の魅力・美点を再確認したとのこと。地域の方々からの学びが、未来の希望あふれる故郷を創り出していくと確信致します。次の3ヵ年計画が楽しみです。

「9」家庭・地域に開かれた学校」では、コロナ禍で様々な行事に地域の方が参加できなかったとのこと。さらに新しく着任された先生方はじめ地域と先生方のつながりが不足したとのことでした。地域の方々もさぞ悲しまれたことでしょう。新型コロナが1日も早く終息し、子どもたちの活躍に地域が大喜びする日常が戻ってきますように。

5、社会教育

日本中で様々な事業や行事が新型コロナの影響を受け、中止や縮小に追い込まれています。楽しみにされていた演奏会やお笑い劇場も今年はお預け。本当に残念です。こんな時こそ、芸術の力が欲しいのに。そんな中、伝統文化の継承に事業を縮小しながらも努められ、大石山遺跡整備工事も予定通り完了。未来の利島を思う心が伝わってきました。

教育長室ウグイス通信に紹介されていた「久遠の契り」の歌詞を読み、メロディにも興味が湧いて、利島村HPを開いてみました。残念ながら久遠の契りに関する記載はなく歌も聞けなかったのですが、「ようこそ利島村へ」で始まる素晴らしい6つの画面に魅了されました。

以上